

2021年10月20日 全8頁

Indicators Update

2021年9月貿易統計

サプライチェーンの混乱を受け自動車輸出が急減

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

[要約]

- 2021年9月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+13.0%と前月（同+26.2%）から伸びが鈍化した。供給制約を背景に自動車輸出が急減しており、季節調整値で見た輸出金額は前月比▲3.9%と減少に転じた。資材の高騰がタイムラグを伴って価格転嫁されたことで輸出価格が上昇したが、輸出数量の減少がこれを上回った。輸入金額は前年比+38.6%、季節調整値では前月比+0.2%と増加基調が続いている。輸出の減少と輸入の増加を背景に、貿易収支は季節調整値で▲6,248億円と大幅な赤字となった。これを受け、7-9月期実質GDPの外需寄与度はマイナスとなる公算が大きい。
- 輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲7.8%と3カ月連続で減少した。減少幅はコロナショックに見舞われた2020年5月以来の大きさであった。地域別に見ると、米国向け（同▲18.1%）、EU向け（同▲5.1%）、アジア向け（同▲3.9%）のいずれも減少した。
- 先行きの輸出は増加基調を辿るものの、増加ペースは緩やかとなろう。景気回復が続く欧米向けの輸出が全体をけん引するとみている。ただし欧州の一部地域では新型コロナウイルス感染が再拡大しており、消費機会の減少によって日本からの輸出の回復ペースが鈍化する可能性がある。また中国向け輸出は、短期的には同国の景気減速を背景に足踏みするとみている。

【貿易金額】自動車輸出の急減により貿易収支は大幅な赤字に

2021年9月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+13.0%と7カ月連続で増加したものの、増加ペースは前月（同+26.2%）から大幅に鈍化した（図表1）。品目別では鉄鋼などが増加した一方、供給制約を背景に主力の自動車が大きく減少した。これを受けて輸出金額の季節調整値は前月比▲3.9%となった。世界的な資源価格の高騰がタイムラグを伴って価格転嫁されたことが輸出価格を押し上げたとみられるが、輸出数量の減少がこれを上回った。供給制約や最大の輸出先であるアジア圏での新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の抑制などが重石となり、輸出金額はこのところ増加基調に陰りが見られている。ただし、後述するように東南アジアでの感染状況は落ち着きを取り戻しつつあり、こうしたサプライチェーンの混乱による自動車輸出の低迷は短期的なものともみている。

輸入金額は前年比+38.6%と大幅増が続いている。品目別では原油及び粗油や医薬品などが押し上げた。季節調整値で見ると、前月比+0.2%と小幅ながら増加した。輸出の減少と輸入の増加を背景に、貿易収支は▲6,228億円となった。季節調整値で見ても▲6,248億円と、コロナショックで輸出が急減した2020年5月以来の大幅な赤字であった。これを受け、7-9月期実質GDPの外需寄与度はマイナスとなる公算が大きい。

図表1：貿易統計の概況

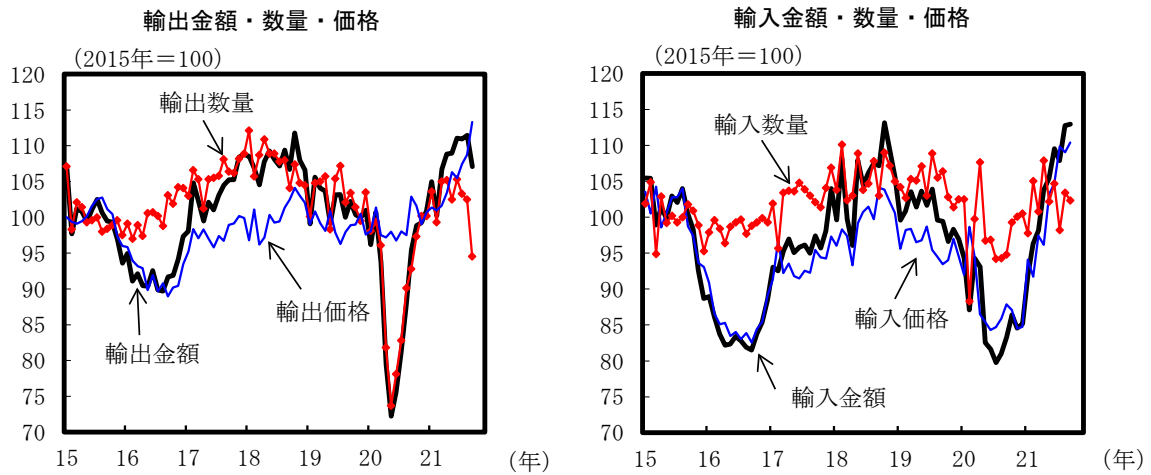
		2021年								
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
原系列 前年比 %	輸出金額	6.4	▲4.5	16.1	38.0	49.6	48.6	37.0	26.2	13.0
	コンセンサス									10.5
	DIRエコノミスト予想									9.8
	輸入金額	▲9.4	11.9	5.8	12.9	28.0	32.8	28.6	44.7	38.6
	輸出数量	5.3	▲4.3	12.6	28.4	38.5	37.2	25.2	13.7	3.3
	価格	1.0	▲0.1	3.1	7.4	8.0	8.3	9.5	11.0	9.4
	輸入数量	▲4.1	22.0	3.9	1.2	6.9	8.2	2.1	14.5	7.6
価格	▲5.5	▲8.3	1.9	11.5	19.7	22.7	26.0	26.4	28.8	
	貿易収支(億円)	▲3,272	2,117	6,578	2,488	▲1,934	3,789	4,358	▲6,372	▲6,228
季節 調整値 前月比 %	輸出金額	4.0	▲4.5	6.5	2.0	0.1	1.9	▲0.1	0.5	▲3.9
	数量	3.4	▲4.2	5.7	0.2	▲2.6	2.7	▲1.9	▲0.8	▲7.8
	価格	0.6	▲0.4	0.7	1.8	2.7	▲0.8	1.8	1.3	4.2
	輸入金額	8.0	4.7	1.9	5.7	1.7	3.9	▲1.5	4.5	0.2
	数量	▲2.7	7.4	▲4.0	7.0	▲5.3	2.4	▲6.2	5.3	▲1.1
	価格	11.0	▲2.5	6.2	▲1.3	7.3	1.4	4.9	▲0.7	1.3
		貿易収支(億円)	6,125	290	3,164	870	▲179	▲1,537	▲508	▲3,367
	税関長公示レート	103.57	104.50	107.13	109.56	108.80	109.50	110.55	109.89	109.87

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

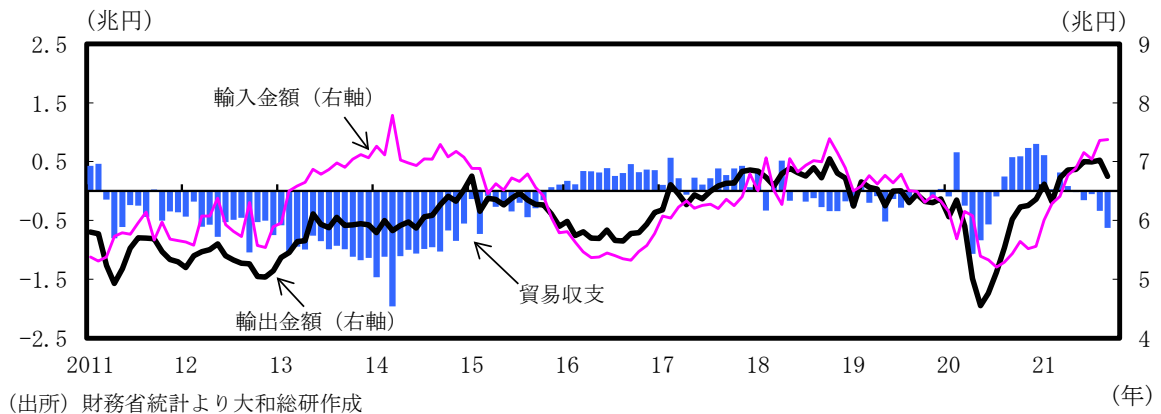
(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

図表 2 : 輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



図表 3 : 輸出、輸入、貿易収支（季節調整値）



【輸出数量】いずれの地域向けでも自動車や同部分品が急減

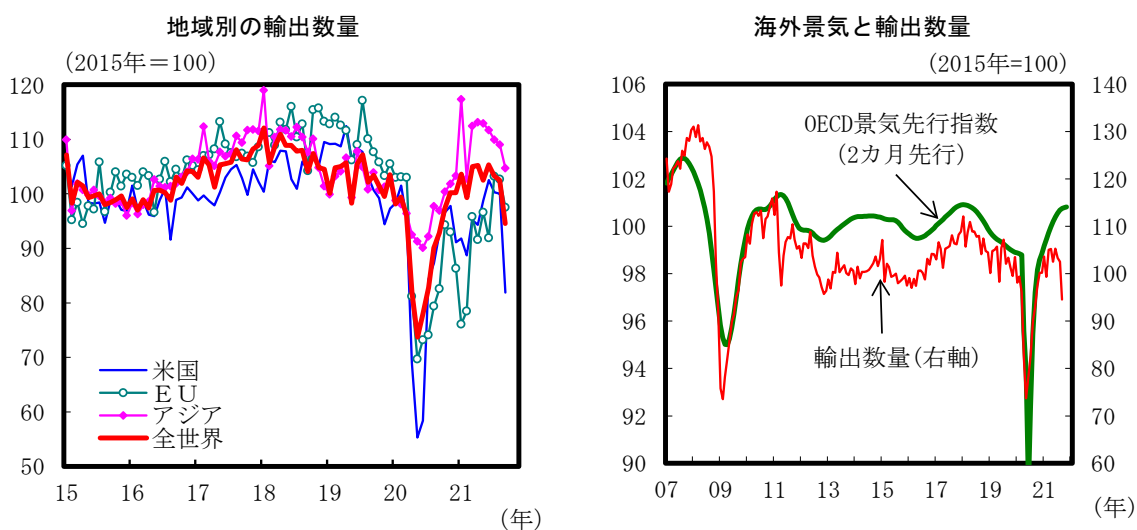
9月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲7.8%と3カ月連続で減少した。減少幅はコロナショックに見舞われた2020年5月以来の大きさであった。地域別に見ると、米国向け（同▲18.1%）、EU向け（同▲5.1%）、アジア向け（同▲3.9%）の全てで減少した。いずれの地域向けも自動車輸出の減少が主因であり、世界的な半導体不足や東南アジアでの感染拡大に端を発したサプライチェーンの混乱により、国内で自動車生産が停滞していることが背景とみられる。

米国向けは3カ月連続で減少した。内訳を見ると、急減の要因の大半が自動車輸出の減少によるものであり、水準で見た自動車輸出はコロナショック直後の2020年5月並みであった。また自動車の部分品や原動機（自動車のエンジンを含む）などの自動車関連財も減少した。このところ自動車部品の在庫の積み増しが米国向け輸出を下支えしていたが、国内外での自動車生産の停滞に連動してこの動きも鈍ったとみられる。

EU向けは2カ月連続で減少した。米国と同様に自動車や同部分品、原動機が全体を押し下げた。とりわけ自動車はコロナショックの最中であった2020年4月の水準を大きく下回っており、供給制約の影響が色濃く表れた。また2021年3月以降高水準にあった鉄鋼が急減しており、欧州域内での生産活動の再開に伴う需要が一巡しつつあるとみられる。

アジア向けは5カ月連続で減少した。コロナショック以降は高水準を維持していたが、9月はそれ以前の水準並みに戻った。品目別では中国向けを中心に自動車が急減したほか、同部分品も減少している。他方、中国向けの半導体等製造装置が全体を押し上げた。ただし、中国向けの半導体等製造装置は均して見れば緩やかに減少している。半導体そのものの需要は依然として根強いとみられるものの、半導体等製造装置に対する需要は頭打ちとなっているようだ。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はOECD諸国とBRICsなど非加盟6カ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

【見通し】欧米向けがけん引も増加ペースは緩やかに／自動車の供給制約は徐々に改善

先行きの輸出は増加基調を辿るものの、増加ペースは緩やかなものとなろう。景気回復が続く欧米向けの輸出が全体をけん引するとみている。ただし欧州の一部地域では感染が再拡大しており、消費機会の減少によって日本からの輸出の回復ペースが鈍化する可能性がある。また中国向け輸出は、短期的には同国の景気減速を背景に足踏みするとみている。

地域別に見ると、米国向けは増加基調を辿るとみている。米国の9月の小売売上高は前月比+0.7%と、市場予想に反して2カ月連続で増加した。米国経済全体の回復ペースが鈍化する中でも一定程度の財需要が見られ、これに対応して日本からの輸出も堅調に推移しよう。ただし売上高の増加の一部は価格上昇によるものであり、消費者の購買意欲が抑制されることでタイムラグを伴って財需要が減退する可能性には注意が必要だ。

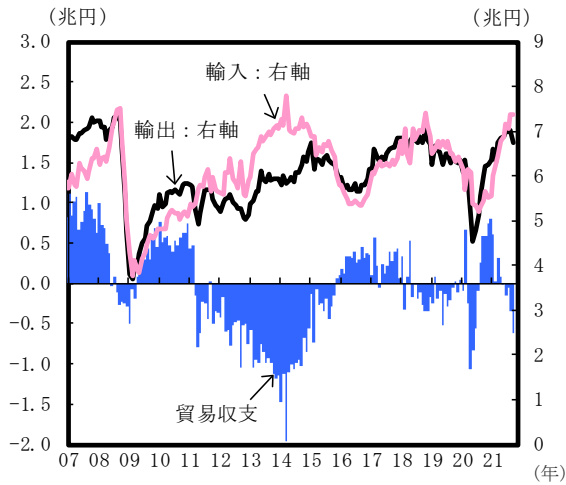
欧州向けは経済の正常化を背景に増加が続くとみているが、そのペースは感染状況に左右されるだろう。欧州では景気回復が進んでおり、ワクチン接種も着実に進展している。しかしながら、足元では英国を中心に感染が再拡大している。Googleが公表する位置情報データによれば、英国では感染再拡大に伴って小売店などへの人出が減少傾向にある。感染拡大による消費機会の減少が顕著になれば、需要の減退を背景に日本からの輸出の回復ペースも鈍るだろう。

中国向けは、短期的には景気拡大ペースの鈍化に伴い足踏みするとみている。中国の7-9月期の実質GDPは前年比+4.9%と、4-6月期の同+7.9%から大幅に減速した。主因は感染再拡大を受けた外出規制による最終消費の低迷と、当局の不動産開発への締め付けによる固定資産投資の抑制だ。こうした状況を受け、日本からの輸出は最終財のみならず主力の資本財についても滞る可能性がある。また足元では中国国内での電力不足が深刻化しており、生産活動の停滞によって日本からの中間財輸出に悪影響が及ぶだろう。他方、供給制約の緩和や世界経済の正常化が進むにつれて中国国内での生産が活発化し、資本財や中間財の需要が拡大することで中国向け輸出も増加に転じるとみている。

なお、足元では東南アジアでの感染状況が落ち着きを取り戻しつつある。ベトナムのホーチミン市やマレーシア全域では、10月初めにロックダウン（都市封鎖）が緩和・解除された。これらの地域での経済活動の抑制がサプライチェーンを直撃し、とりわけ日本における自動車生産の抑制要因となっていたが、今後はこうした状況が徐々に改善されるだろう。

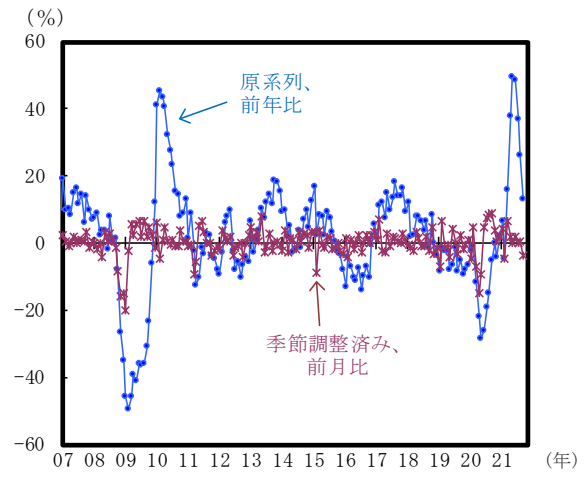
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

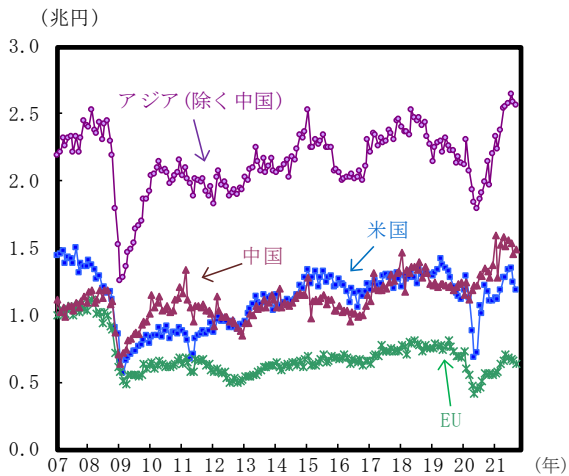


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

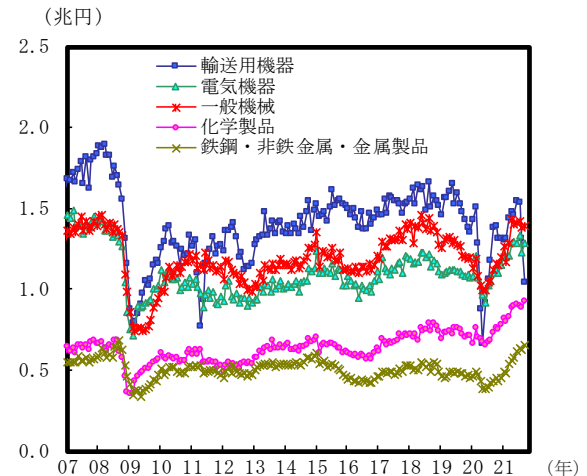


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

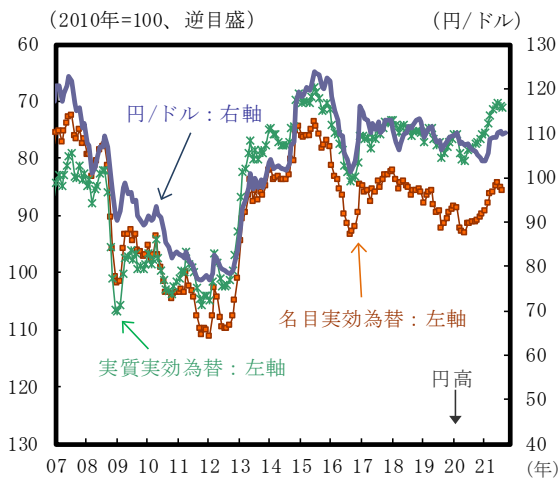


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

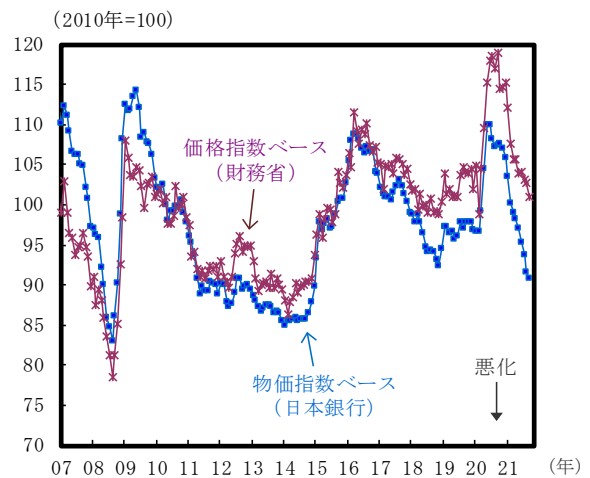


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2021/04	2021/05	2021/06	2021/07	2021/08	2021/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	38.0	49.6	48.6	37.0	26.2	13.0	100.0	13.0
食料品	37.3	29.9	22.7	25.6	29.2	22.8	1.2	0.3
原料品	75.3	105.4	84.9	50.4	48.9	35.8	1.7	0.5
鉱物性燃料	▲4.7	12.5	7.7	133.2	153.5	167.9	1.8	1.3
化学製品	28.5	32.6	39.5	33.1	28.5	27.4	13.4	3.2
原料別製品	27.4	45.7	56.6	55.1	43.6	42.8	12.9	4.4
鉄鋼	20.6	43.5	73.0	88.3	83.6	94.4	5.3	2.9
非鉄金属	48.5	63.7	45.2	31.5	13.3	14.4	2.7	0.4
金属製品	30.4	46.2	60.1	50.0	29.1	23.1	1.5	0.3
一般機械	40.2	40.5	42.0	35.8	31.7	23.7	19.7	4.3
電気機器	25.6	32.9	39.9	30.9	17.1	16.5	19.7	3.2
半導体等電子部品	11.4	12.7	24.7	27.8	14.9	20.2	6.6	1.3
I C	6.4	6.5	14.2	24.4	12.7	17.5	4.6	0.8
映像機器	69.9	114.7	64.4	14.6	15.6			
映像記録・再生機器	66.3	96.6	74.8	17.6	14.4	6.2	0.4	0.0
音響・映像機器の部分品	82.2	26.9	80.0	137.0	25.5	0.6	0.3	0.0
電気回路等の機器	22.6	40.1	47.9	33.4	25.4	20.4	2.7	0.5
輸送用機器	69.4	118.9	68.1	44.8	11.5	▲24.5	15.3	▲5.6
自動車	88.9	135.5	102.8	43.5	4.0	▲40.3	8.6	▲6.5
自動車の部分品	68.6	139.2	114.8	60.1	28.7	9.9	4.4	0.4
その他	32.9	43.2	47.5	21.9	27.7	10.7	14.2	1.5
科学光学機器	20.1	36.4	26.1	19.8	21.6	15.8	2.8	0.4

米国向け輸出金額 内訳								
	2021/04	2021/05	2021/06	2021/07	2021/08	2021/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	45.1	87.9	85.7	26.8	22.8	▲3.3	100.0	▲3.3
食料品	60.2	128.2	115.4	51.9	66.0	23.2	1.0	0.2
原料品	19.9	143.8	110.2	21.8	60.5	18.0	0.7	0.1
鉱物性燃料	▲53.2	▲65.1	▲33.1	32.3	595.0	2673.2	1.5	1.4
化学製品	15.8	▲1.6	22.5	39.5	55.0	24.3	8.5	1.6
原料別製品	14.8	57.0	85.4	51.9	44.2	21.9	6.7	1.2
鉄鋼	▲0.2	50.4	145.3	35.0	48.6	59.7	1.4	0.5
非鉄金属	9.4	62.7	5.9	75.7	52.4	35.8	0.8	0.2
金属製品	31.4	77.2	112.7	43.1	26.0	14.1	1.6	0.2
一般機械	24.4	65.8	80.3	47.8	54.2	40.7	27.3	7.6
電気機器	43.0	99.4	79.8	35.5	23.6	5.8	15.6	0.8
半導体等電子部品	21.8	62.6	76.0	51.4	37.4	27.1	1.8	0.4
I C	19.5	77.8	47.7	32.4	21.0	10.5	0.7	0.1
映像機器	64.8	164.5	89.9	3.0	36.1			
映像記録・再生機器	62.2	158.4	124.8	25.1	41.1	▲6.0	0.8	▲0.0
音響・映像機器の部分品	166.6	144.2	74.4	659.1	168.6	78.7	0.3	0.1
電気回路等の機器	36.0	104.5	65.4	25.6	20.6	▲0.9	1.5	▲0.0
輸送用機器	106.5	225.0	129.5	11.2	▲8.3	▲38.4	25.5	▲15.4
自動車	117.6	244.6	144.3	10.7	▲12.4	▲47.0	17.4	▲15.0
自動車の部分品	78.3	295.5	179.9	45.1	29.8	13.2	6.5	0.7
その他	32.3	68.5	68.3	16.3	28.7	▲6.1	13.2	▲0.8
科学光学機器	50.6	58.4	38.1	36.3	42.4	19.5	2.7	0.4

EU向け輸出金額 内訳								
	2021/04	2021/05	2021/06	2021/07	2021/08	2021/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	39.5	69.6	51.1	46.1	29.9	12.1	100.0	12.1
食料品	79.9	115.3	92.5	87.7	78.7	55.7	0.7	0.3
原料品	7.2	100.9	52.6	42.4	31.6	44.4	1.2	0.4
鉱物性燃料	▲82.9	300.0	119.1	95.8	30.6	130.9	0.1	0.1
化学製品	23.8	37.8	46.3	30.7	25.3	38.1	14.6	4.5
原料別製品	37.9	81.4	84.2	94.0	111.5	60.9	7.7	3.3
鉄鋼	40.6	158.8	173.7	445.8	495.3	140.9	1.3	0.8
非鉄金属	39.4	55.2	80.5	36.5	77.3	206.4	1.4	1.1
金属製品	45.5	76.4	74.0	42.7	46.7	29.8	1.6	0.4
一般機械	34.4	70.4	65.7	51.2	47.2	31.0	23.8	6.3
電気機器	45.1	52.8	52.5	40.4	22.8	18.3	19.7	3.4
半導体等電子部品	37.8	45.7	41.0	47.8	25.5	27.0	2.7	0.6
I C	43.9	48.7	20.5	39.5	26.5	13.9	1.1	0.2
映像機器	138.0	154.3	78.8	22.2	6.0			
映像記録・再生機器	154.0	137.7	81.2	31.1	1.6	19.1	0.8	0.2
音響・映像機器の部分品	18.0	70.4	69.2	75.2	5.2	▲4.8	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	29.2	71.6	71.5	73.5	63.0	39.3	1.9	0.6
輸送用機器	73.8	112.4	40.1	41.2	3.1	▲36.8	16.1	▲10.6
自動車	70.3	46.7	14.8	9.6	▲18.3	▲58.5	7.1	▲11.2
自動車の部分品	117.9	287.3	206.7	73.7	17.9	▲5.9	6.0	▲0.4
その他	27.6	69.8	33.5	44.6	27.9	32.2	16.0	4.4
科学光学機器	51.3	70.5	31.5	54.3	32.2	28.6	4.2	1.1

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2021/04	2021/05	2021/06	2021/07	2021/08	2021/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	32.7	32.5	37.1	32.5	26.1	21.3	100.0	21.3
食料品	30.4	12.9	6.9	18.6	18.8	22.4	1.5	0.3
原料品	91.7	101.8	86.2	52.4	46.7	40.1	2.3	0.8
鉱物性燃料	36.1	52.6	10.6	126.2	32.0	79.7	1.5	0.8
化学製品	32.8	38.0	44.0	33.7	29.0	26.9	16.2	4.2
原料別製品	30.2	42.3	49.8	55.6	42.1	42.1	15.5	5.6
鉄鋼	25.4	44.2	67.0	90.0	83.1	91.5	6.6	3.8
非鉄金属	47.7	58.7	45.1	35.7	18.5	13.0	4.0	0.6
金属製品	28.6	34.3	42.2	49.4	23.5	26.5	1.6	0.4
一般機械	47.2	25.3	25.6	26.8	20.5	16.8	18.1	3.2
電気機器	16.9	18.5	30.3	27.6	15.4	18.6	23.6	4.5
半導体等電子部品	9.7	9.1	21.5	25.9	13.2	19.1	10.0	1.9
IC	5.0	3.8	12.8	23.7	11.9	17.6	7.3	1.3
映像機器	40.4	63.2	37.3	5.6	▲1.3			
映像記録・再生機器	39.9	52.9	47.0	6.1	2.8	21.9	0.3	0.1
音響・映像機器の部分品	74.4	10.1	72.5	74.4	4.3	▲13.5	0.3	▲0.1
電気回路等の機器	17.5	28.8	41.8	30.7	22.1	20.4	3.6	0.7
輸送用機器	46.5	59.4	40.3	32.6	16.2	▲21.2	5.7	▲1.8
自動車	77.9	68.9	52.6	30.8	9.3	▲47.3	2.1	▲2.3
自動車の部分品	34.2	57.2	64.0	59.9	25.4	16.6	3.0	0.5
その他	27.9	30.3	41.5	21.9	35.8	24.9	15.6	3.8
科学光学機器	8.4	24.8	20.3	9.9	15.6	13.0	3.1	0.4

中国向け輸出金額 内訳								
	2021/04	2021/05	2021/06	2021/07	2021/08	2021/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	33.8	23.6	27.7	18.9	12.6	10.3	100.0	10.3
食料品	45.0	20.1	35.1	73.8	72.8	44.9	1.2	0.4
原料品	137.6	125.0	141.5	53.5	39.0	71.4	2.1	1.0
鉱物性燃料	7.4	▲13.4	▲33.4	▲6.7	▲23.3	▲1.8	0.6	▲0.0
化学製品	28.1	23.4	27.9	20.3	25.4	24.2	17.7	3.8
原料別製品	37.5	23.6	20.2	19.1	8.9	10.6	12.7	1.3
鉄鋼	50.4	29.3	20.6	23.6	5.9	23.6	3.8	0.8
非鉄金属	46.4	28.3	15.4	8.0	6.3	▲5.6	4.2	▲0.3
金属製品	34.1	14.4	27.2	34.8	10.3	22.1	1.7	0.3
一般機械	56.5	25.2	25.7	13.5	5.6	10.1	21.8	2.2
電気機器	13.3	11.2	24.4	24.5	15.0	26.1	23.5	5.4
半導体等電子部品	▲10.2	▲8.5	2.8	19.7	11.2	47.2	7.7	2.7
IC	▲23.6	▲20.7	▲12.7	15.3	10.6	71.4	5.5	2.5
映像機器	20.8	26.7	2.8	▲9.1	▲11.7			
映像記録・再生機器	15.1	23.8	6.5	▲8.6	▲6.9	19.5	0.4	0.1
音響・映像機器の部分品	48.4	▲5.7	57.0	99.3	▲20.0	▲26.2	0.4	▲0.2
電気回路等の機器	18.2	22.2	28.8	16.8	16.8	13.8	3.8	0.5
輸送用機器	52.4	30.8	15.2	13.4	▲5.5	▲43.7	5.9	▲5.0
自動車	80.1	42.9	17.6	13.6	▲11.2	▲71.9	1.7	▲4.9
自動車の部分品	20.7	15.3	8.6	13.1	2.1	▲3.3	3.8	▲0.1
その他	15.2	29.1	48.7	16.4	17.4	7.9	14.5	1.2
科学光学機器	▲5.2	15.4	20.5	2.5	1.5	1.3	4.1	0.1

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成